

# 品川区教育委員会会議記録

平成19年 第16回 定例会

場 所 教育委員室

期 日 平成19年11月13日

開 会 午後2時03分

閉 会 午後4時32分

出席委員	委 員 長 細川 珠生 委員長職務代理者 徳岡 壽夫 委 員 安尾 久子 委 員 前田 武昭 教 育 長 若月 秀夫
欠席委員	

出席職員	教 育 次 長 長田 正 庶 務 課 長 市川 一夫 学 務 課 長 古里 兌夫 指 導 課 長 河野 美和 小中一貫教育担当課長 藤森 克彦 生涯学習課長 富田 祥子 品川図書館長 工藤 俊一 品川区スポーツ協会事務局次長 本城 善之 幼保一元担当課長 高橋 純子
------	---

議事運営および  
委員長、教育長報  
告事項等

署名委員に安尾委員、前田委員を指名  
幼保一元担当課長の出席を求めている

件名	<p>日程第1 第28号議案</p> <p>品川区立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則について</p>
担当課説明等	<p>(学務課長)</p> <p>幼稚園の運営に関しては児童保健事業部保育課へ補助執行していることにより幼保一元担当課長からの説明としたい。</p> <p>(幼保一元担当課長)</p> <p>資料に基づき説明</p>
委員質疑要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二葉幼稚園の4歳児は1割以上の増加となるが運営上支障はないか。</li> </ul> <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4歳児から5歳児になる子どもの扱いはどのようになるのか。</li> </ul> <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5歳児は持ち上がりということは、空きがあれば募集するということか。</li> </ul>
事務局説明	<p>(幼保一元担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二葉幼稚園の運営について、幼保一体施設ということで人気がある。施設、職員配置とも配慮している。1学級あたり定員の35人に達していないので、1割増加しても運営に支障はない。</li> <li>・ 4歳児から5歳児は継続して在園するのが基本。定員については4歳児が30人、5歳児が32人を基本に定めているので、基本的に特例措置を翌年に引き継ぐように規則改正を行うが、規則で定める32人に達しなければ特例は設ける必要はない。</li> <li>・ 5歳児の募集について、空きがあれば募集する。</li> </ul>
委員意見要旨	特になし
議事結果	原案可決

件名	日程第1 第29号議案 品川区文化財保護審議会委員の委嘱について
担当課	(生涯学習課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員A) ・ 文化財保護審議会の運営について、審議会で解決し難い問題等は発生していないか。 ・ 委員の選任にあたり、品川に関連する人物を選定するようにしているか。  (委員D) ・ 審議会の開催頻度はどのようになっているか。
事務局説明	(生涯学習課長) ・ 文化財保護審議会の運営について現状解決し難い問題は発生していない。 ・ 審議会の開催は年4回程度。依頼している調査の審議を行っている。具体例として文化財の指定、近代建築の調査、などについて、専門的立場から意見をいただいている。 ・ 委員の選定にあたっては、基本的には品川に関わりのある方をお願いしている。例としては品川にある大学や国文学研究資料館の方などを中心としている。ただし、分野によってはそのような扱いができないものもある。
委員意見要旨	特になし
議事結果	原案可決

件名	日程第2 協議事項1 平成20年度予算編成について
担当課	(庶務課長) ・ 本件は、予算査定前の原案であり、区議会議決前の案件である。意思形成の過程にあるため、非公開の会議を提案
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項2 教育委員会事務事業の点検・評価の準備について</p>
<p>担当課</p>	<p>(庶務課長) 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員A)  <ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の点検・評価の方法等について、国から指示等はあるか。</li> <li>評価方法の案は教育委員会事務局のみで考えたものか。</li> <li>他区の状況等はどのようになっているか。</li> </ul> </p> <p>(委員D)  <ul style="list-style-type: none"> <li>評価についてどのようなスケジュールとなるのか。</li> </ul> </p> <p>(委員C)  <ul style="list-style-type: none"> <li>評価を実施する目的は何か、目的を明確にするべきである。</li> <li>評価は内部の評価のみか。</li> <li>評価をどのように活かしていくのか。</li> <li>本件評価制度の制定の目処はどうか。</li> </ul> </p>
<p>事務局説明</p>	<p>(庶務課長)  <ul style="list-style-type: none"> <li>点検・評価方法等について、国からは例示などは示されていない。</li> <li>国が例示をしないことについては、各自自治体により事情が異なり、共通のものを示していくのと思う。</li> <li>評価方法については、平成13年度から平成17年度に区で行った事務事業評価の経験があり、それを踏まえた上で検討・作成している。</li> <li>行政評価を実施した経験のある区が4～5区あり、それらの区はその経験を活かし準備を行っているようだ。それ以外の区はゼロからの検討であり苦慮している部分もあるようだ。</li> <li>評価のスケジュールについて、前年度の事務事業をその翌年度に評価することとなる。</li> <li>評価の目的について、効率的な事務執行、委員会による事務事業の全体像の把握と個別事業の検証が主な目的となるが、基本的な目標は、先般の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により示された教育委員会の責任の明確化である。</li> <li>評価については内部の評価のみである。</li> <li>評価の活用について、評価により予算や執行方法に反映していく。</li> <li>法律が施行される平成20年度の事業について平成21年度に評価することと考えている。いずれにせよ、評価方法・内容については今年度中に決定させたい。</li> <li>いただいたご意見について、検討していく。</li> </ul> </p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員A)  <ul style="list-style-type: none"> <li>評価の方法や内容について国から例示をするべきことではないか。</li> </ul> </p> <p>(委員B)  <ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の必要性の検証が大切。</li> <li>必要だが成果の出ない事業もある。継続するか否か、改善すべきか否かを判断することが重要な評価の内容となる。</li> </ul> </p> <p>(委員C)  <ul style="list-style-type: none"> <li>評価にあたり、予算・コストを明記すべき。</li> <li>評価の結果を次年度の予算編成に結びつけるべき。</li> <li>制度案の詳細について今後提示するように。</li> </ul> </p>

	<p>(委員 E)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 国からの例示を期待してはいけない。国まかせでは各自治体の教育委員会 が活性化しない。自ら考えていくべきこと。</li><li>・ 今回は基本的な方向性を定めることができればよいと考える。</li></ul>
議事結果	了承

件名	<p>日程第3 報告事項1</p> <p>平成 20 年度入学生の希望申請の集計結果について</p>
担当課	(学務課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抽選を行う学校について、学区域を自由化したにもかかわらず学区域の児童・生徒が優先となっていることに疑問を感じる。今後見直す考えはあるか。</li> </ul> <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抽選の定員枠は何名か。</li> </ul> <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荏原第一中学校は人数が増加しているようだが、抽選にならないか。</li> </ul>
事務局説明	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学区域に関わる問題については現在「学事制度審議会」に諮問し検討しているところであり、今後審議会の答申に基づき、教育委員会に協議したい。</li> <li>・ 抽選の定員は、1クラス40人で計算しているが、中学校15人、小学校で20人の転入生用の枠を設けている。</li> <li>・ 荏原第一中学校については校長とも協議したが、同校は私立学校への進学率が高いので、現在の数値より入学者は減ると見込まれるため、問題はないと判断している。</li> </ul>
委員意見要旨	<p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細な分析結果報告を待つこととしたい。</li> </ul>
議事結果	了承

その他

- ・ 平成19年12月の行事予定について
- ・ 次回11月27日の開会時間について区議会常任委員会と日程が重複するため、開会時刻の変更をお願いする可能性がある。